

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 7 月 14 日 (2016.7.14)

【公開番号】特開 2016-53057 (P2016-53057A)

【公開日】平成 28 年 4 月 14 日 (2016.4.14)

【年通号数】公開・登録公報 2016-023

【出願番号】特願 2015-214045 (P2015-214045)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/4025 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 13/12

A 6 1 K 31/4025

A 6 1 P 9/12

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 5 月 23 日 (2016.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

糖尿病性腎症を有するヒト対象において糖尿病性腎症を治療する方法における使用のための、アトラセンタンまたはその塩を、アンギオテンシン変換酵素阻害剤またはアンギオテンシン II 受容体遮断剤と組み合わせる薬物であって、

前記方法は、アトラセンタンまたはその塩、およびアンギオテンシン変換酵素阻害剤またはアンギオテンシン II 受容体遮断剤の少なくとも一つの、用量を対象に投与することを含む、前記薬物。

【請求項 2】

方法が糖尿病性腎症の進行を遅延させる、請求項 1 に記載の薬物。

【請求項 3】

方法が、アンギオテンシン変換酵素阻害剤またはアンギオテンシン II 受容体遮断剤の用量を、ヒト対象における最も高い耐用量で投与することを含む、請求項 1 または 2 に記載の薬物。

【請求項 4】

対象が顕性期の糖尿病性腎症を有する、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の薬物。

【請求項 5】

方法が、アトラセンタンまたはその塩を少なくとも 3 ヶ月の期間投与することを含む、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の薬物。

【請求項 6】

アトラセンタンまたはその塩がアンギオテンシン変換酵素阻害剤またはアンギオテンシン II 受容体遮断剤と共に投与される、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の薬物。

**【請求項 7】**

方法が、糖尿病性腎症の 1 種類以上の形態学的マーカーにおいて有益な作用をもたらすことを含む、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の薬物。

**【請求項 8】**

糖尿病性腎症の形態学的マーカーが、糸球体硬化である、請求項 7 に記載の薬物。

**【請求項 9】**

方法が、アルブミン尿、糸球体濾過率 ( G F R ) またはクレアチニンクリアランスにより示される腎機能において有益な作用をもたらすことをさらに含む、請求項 1 から 8 のいずれかに記載の薬物。

**【請求項 10】**

方法が、末期腎臓病または慢性腎不全までの時間を延長させることをさらに含む、請求項 1 から 9 のいずれかに記載の薬物。

**【請求項 11】**

アンギオテンシン変換酵素阻害剤が、ベナゼプリル、カプトプリル、エナラプリル、フォシノプリル、リシノプリル、モエキシプリル、ペリンドプリル、キナプリル、ラミプリル、トランドラプリルおよびそれらの組み合わせからなるグループから選択される、請求項 1 から 10 のいずれかに記載の薬物。

**【請求項 12】**

アンギオテンシン II 受容体遮断剤が、カンデサルタン、エプロサルタン、イルベサルタン、ロサルタン、オルメサルタン、タソサルタン、テルミサルタン、バルサルタンおよびそれらの組み合わせからなるグループから選択される、請求項 1 から 11 のいずれかに記載の薬物。

**【請求項 13】**

アトラセンタンまたはその塩と、さらに、クロロチアジド、クロルタリドン、ヒドロクロロチアジド、インダパミド、メトラゾン、ポリチアジド、ブメタニド、フロセミド、トルセミドおよびそれらの組み合わせからなるグループから選択される利尿剤とを組み合わせる、請求項 1 から 12 のいずれかに記載の薬物。

**【請求項 14】**

ヒト対象が 2 型糖尿病と診断されている、請求項 1 から 13 のいずれかに記載の薬物。